

第一章 循環創造ツール(仮)「TAWARA」

1-1. お金とは

私たちの多くが、生きていく上で必要なものだと錯覚してしまっているものがあります。それは「お金」です。ですが実際はお金があったとしても、「あるもの」がなければ、生きていくことが難しいということを多くの人は忘っています。それは、「人」です。お金とはあくまで、人が価値と価値を交換するためのツールであって、価値の交換ができないければ、お金はただのモノになります。個人の生産活動とそれらが循環する経済活動があって、初めてお金は意味を持ちます。お金はあくまでも生産されたものを交換する手段であって、お金自体に価値があるわけではありません。

1-2. 価値とは

では、価値とは何でしょうか。価値とは、各個人の「幸せの指標」とも言えます。例えば、ネコと過ごす時間に幸せを感じる人は、保護猫の活動やネコグッズに対してお金を支払いますが、ネコに対して価値を感じない人は、進んでお金を支払うことはしません。人は無意識・無自覚に、「これは自分にとって価値がある」「これは自分にとって価値がない」という判断をしており、お金の使い方をみれば、その人が何に価値を置いているのかを客観的に見ることができます。ですが、多くの人が、「自分は何に価値をおいているのか」を自覚しておらず、自分にとって本当に価値あるものではないものにお金や時間を費やしているようです。そうすると、お金に縛られ、仕事に縛られ、本当の幸せから遠のいてしまうのです。では、どうしたらよいのでしょうか。

1-3. お金にとらわれずに生きる方法

もし、自分が欲しいものや必要なものと、自分が生み出す価値を直接交換することができれば、究極的にお金は必要ありません。例えば、あなたがお米をつくっていて、野菜が欲しいときに、野菜を生産している人と交換できれば、お金は必要ありません。あなたが写真を撮る人で、マッサージをしている人に写真撮影を提案し、マッサージをする人も自分の価値をさらに高めることができれば、このやりとりにもお金は必要ありません。もちろん、どうしても必要な経費（税金・旅費交通費・医療費など）はありますが、自分にとっての幸せな暮らしには何が必要なのかを自覚し、それらを生産できる人たちと強い信頼関係で結ばれ、共通の目的を持って暮らしを共にすれば、健康的で幸せな暮らしを送ることは、現実的には可能です。俵山ビレッジは、100%とは言いませんが、このような循環を生み出すための仕組みとして、TAWARA というコミュニティ通貨を実験的に取り組んでいます。

■ お金への依存度を減らして生きるための 5 つの工夫

- (1) 自分の才能を活かした生産活動を行う（≒自営業として生きる）
- (2) お金を使う場合は、できるだけ身近な人たちや地域内で循環させる
- (3) 信頼関係を築くことで、機能的な価値以上に、感情的な価値を味わえる人間関係を育む
- (4) 短期の損得ではなく、長期的に健康で幸せになれる人生プランを描き、それらを徐々に選び始める
- (5) 自分の才能と自分が欲しいものを交換できる人間関係（コミュニティ）を、全員で共同創造し続けていく

■豊かに生きるためのポイント

- ・自分にとって、価値（幸せ）とは何かを自覚する
- ・自分の大切な人たち一人ひとりにとって、価値価値（幸せ）とは何かと一緒に探す
- ・自分の大切な人が価値を感じるもの、提供できる自分を育てる（消費者ではなく、生産者になる）
- ・自分の才能によって、自分たちの暮らしがどれだけ豊かになるのかをイメージし、社会参画が促される
- ・自分の才能による価値が、自分の暮らしや地域に直結するほど、豊かさが増す速度が早まる

■より深く考察するためのメモ（抽象度高め）

- ・人がいなければ、お金は単なる紙でしかない
- ・信用と想像（錯覚）によってお金が増えているように見えるが、実際は、移動しているだけ
- ・すべての価値は、生産によってつくられる。生産する人がいなくなれば、価値は失われていく
- ・過去の生産が現在の生活を支え、現在の生産が未来の生活を支える
- ・みんながみんなのために働けば、みんな幸せになる
- ・お金がなくても、あなたを助けてくれる人がいれば、あなたは安心と豊かさを手にいれることができる
- ・この人たちのために喜んで生産したい、と思える仕事（役割）と相手と出会うことが人生の一つの鍵
- ・お互いに満足できたと感じる循環が増えるほど、幸せを感じる機会が増す
- ・自分の暮らす地域を、自分が欲しいものを持っている人たちで溢れ返させ、仲良くなり続ける
- ・自分と他者の境界線が強くなる（人を信頼できない）と、何をするにしてもお金が必要になる
- ・敵対関係や損得関係から生まれるのがマーケット。共同体意識から生まれるのがコミュニティ

■徐々に衰退してしまう考え方

- ・自分のお金を、自分だけのために使う
- ・お金を溜め込み、循環しないお金が増える
- ・他者や地域の幸せよりも、自分の幸せを優先する人が増える地域になる
- ・未来のことを考えず、現在の豊かさを享受することを優先する人が増える
- ・信頼関係が薄い相手になるほどに、お金が必要になったり、お金のトラブルが起きやすい
- ・自分にとっての価値あるものが分からず、衝動的・反応的にお金や資産を浪費する
- ・生産活動を行わず、利子・複利・権利のみで生きていこうとする人が大量に増える



第二章 TAWARA

2-1. TAWARA とは

TAWARA とは、俵山ビレッジで流通しているコミュニティ通貨です。TAWARA の基本概念は、一人ひとりが積み重ねてきた経験を、信頼を基礎とした人間関係に投じ、お互いの価値を循環させることで、個人もコミュニティも、物心共に豊かな暮らしを実現できるという仮説に基づいています。TAWARA を活用して、お互いのサービスや商品を購入しあうことで、(1)全員の生産能力の向上 (2)信頼関係の構築とより深い相互理解 (3)お金に頼らなくても生きていけるコミュニティの実現を目指しています。すでに自営業をしている人はもちろん、まだお金をいただくことに自信がない方も、まずは TAWARA を活用することで何らかの生産活動を始めてみてください。そして、TAWARA をどんどん使って、価値の交換とはどのようなものなのか、自分の感じる価値とは何かという経験値を増やしていきましょう。そうすれば、実際の日本円を扱うようになったときも、自分にとって大切なものや大切な使い方が何かを理解することができるでしょう。

2-2. 前提条件

イ) 関わる人全員が幸せであること

人の幸せは、人と人との交流から生まれます。TAWARA は、全員で全員の課題や望みに取り組むという理想論を現実にするために作られました。まずは、遊び感覚で TAWARA を使ってみてください。どんな時に、どう使うと、どんな気持ちになるのか。損をしたと感じたり、悲しい気持ちになるのは、どんな時なのか。どうしたら、自分も相手も、支払う方も受けとる方も幸せを感じる循環を生み出すことができるのか。自分だけの幸せではなく、関わる人たちとの幸せを考えるきっかけとなるルールが、TAWARA です。

ロ) 購買は投資である

何かを購入するということは、その事業者を応援していることに通じます。地元企業の商品・サービスを購入すれば地元企業が潤い、地域外の企業から購入すれば地域外が潤い、海外の商品を買えば海外が潤います。TAWARA という法定通貨ではない信頼の交換財を通じて、「購買=投資」という概念を育てていきましょう。この考え方は TAWARA のみならず、普段の購買に関しても意識や行動が変わっていくという狙いも含んでいます。自分たちが欲しいもの・必要なものを、自分たちの身内で循環させることができるという状態は、平常時だけでなく、有事においても非常に安心材料となります。

2-3. TAWARA の目的

1. 俵山ビレッジ・地域住民・湯治客の交流を生み出し、関係人口を増加させる
2. 生産者（自営業者）を増やし、日本円よりもお得にお互いのサービスを交換できる仕組みとする
3. TAWARA の流通により、俵山地域の価値や文化を保全し、次世代に継承するシステムの一つとする
4. 日本円を介さずとも、暮らしを継続できる個人とコミュニティのモデルケースをつくる

2-4. TAWARA の目標（2030 年）

1. MURABITO を、1000 人にする
2. 1 TAWARA で、町の湯に入れる未来をつくる（勝手な妄想です）
3. 俵山温泉内に、TAWARA が使える商品・サービスを、300 以上にする
4. 暮らしの 1/2~1/3 が TAWARA で成り立つ人を 30 人以上にする

2-5. グランドルール

- ・TAWARA の価値は、「1 TAWARA ≈ 500 円」を基準に、各自が自由に価値を決めてよい
- ・価格を決める際、日本円で買うよりも TAWARA で買う方が何らかの付加価値があるようとする
- ・TAWARA に付随された付加価値は、測定しないことに価値と信頼がある
- ・TAWARA は、購入・販売・譲渡（有償）することはできない
- ・TAWARA は、贈与（無償）・交換することができる
- ・TAWARA は、活動によってのみ得ることができる
- ・TAWARA は、発行年数ごとにデザインや色が違う
- ・TAWARA は、利子と負債を生み出さない
- ・TAWARA は、可能な限りアナログに運営する
- ・TAWARA は、半年に一回（6 月・12 月）目安箱を設け、意見を運営に反映する
- ・手元に TAWARA があるときは、自分で止めるのではなく、次の人に渡す文化を形成する

2-6. TAWARA の特徴

- ・TAWARA は、大切なものをお互いに大切にしていると感じ合える人ととの間で流通する
- ・TAWARA を持っている人 ≈ 世界観や価値観が近い人という一つの指標になる
- ・困っている人や関わりたい人を見かけたら、TAWARA を口実にコミュニケーションをとろう

2-7. TAWARA を得る方法

- ・住民の清掃報酬（meguri | 15T、MUKU | 10T、cococara | 8T/3 部屋、7T/2 部屋、6T/1 部屋、UMI・MORI | それぞれ 6T）
- ・地域の清掃活動（2TA/1h）、オープンデイ以外の来訪者俵山案内（4TA/2h 程度）
- ・MURABITO 入会（1TA）

2-8. TAWARA を使う時のポイント

- ・TAWARA そのものに価値があるのではなく、関わる人たち同士の信頼関係の構築と相互理解に価値がある
- ・TAWARA は交換されなければ、単なるおもちゃ。交換することで得/徳を感じる機会を増やす
- ・自分の持っている価値、相手の秘められた価値を発見・発揮するために、TAWARA を活用する
- ・TAWARA の真の価値は、交換された瞬間に互いが払った以上の価値を受け取っていると感じることにある
- ・TAWARA を多用することで、感情の起伏を経験し、人生の軸や価値観を明確にする
- ・最終的には TAWARA がなくても、お互いのために貢献し合える人間関係を深く、広く、構築していく

2-9. 指標

1. 発行総額=需要と供給のバランスを示す
2. 流通量=適切な流通量を設計する
3. 生産者数=TAWARA による価値交換ができる店舗や個人数
4. 利用者数=1TAWARA 以上持つており、オプチャに登録している人の数（オプチャ準備中）
5. 継続期間=2024 年 4 月より運用開始
6. 形式=アナログ、デジタル、その他

2-10. TAWARA を使えるサービス（2025.5.2 現在）

番号	商品・サービス名	一般	MURABITO	住民	担当
1	Entrance Drink	1~2TA	1TA	1TA	CCJ
2	ナノミストサウナ	4TA	3TA	2TA	CCJ
3	一泊 (UMI・MORI・coco)	10TA	9TA	7TA	CCJ
4	cococara/貸切	40TA	35TA	30TA	CCJ
5	MUKU/貸切	60TA	55TA	40TA	CCJ
6	meguri/貸切	160TA	140TA	100TA	CCJ
7	家賃 (1ヶ月分)	—	—	400TA~	CCJ
8	コミュニティフィー (1ヶ月分)	—	—	200TA	CCJ
9	呼吸法	60TA	50TA	30TA	だいすけ
10	ミニリーディング/30min	10TA	5TA	3TA	だいすけ
11	曼荼羅チャートまとめ/60min	20TA	10TA	5TA	だいすけ
12	EM 活性液(500ml)	2TA	1TA	1TA	あかね
13	うみたてたまご(5個)	2TA	1TA	1TA	あかね
14	俵山ツアーア	5TA	4TA	3TA	あずき
15	鹿ステーキ (1人前)	7TA	5TA	3TA	けいすけ
16	俵山 ポートレート撮影	8TA	6TA	5TA	かずま
17	オーダーチャイ(4-5杯)	4TA	3TA	2TA	みゆ
18	施術/オイル	10TA	8TA	5TA	みゆき
19	とれたてフレッシュハーブ	2TA	1TA	1TA	みか
20	タロットカード	3TA	2TA	1TA	みか
21	ヒーリング/マッサージ	5TA	4TA	3TA	みか
22	酵素玄米プレート	3TA	2TA	1TA	かおり
23	よろず屋けんてい	3TA	2TA	1TA	けんと
24	マッサージ/ヒーリング	10TA	8TA	5TA	みちこ
25	自家製のり麺	3TA	2TA	1TA	のりこ
26	フットネイル(ポリッシュ)	6TA	5TA	4TA	なおこ
27	手作りランチ&お茶タイム 2名以上	4TA	3TA	2TA	きよ
28	募集中				